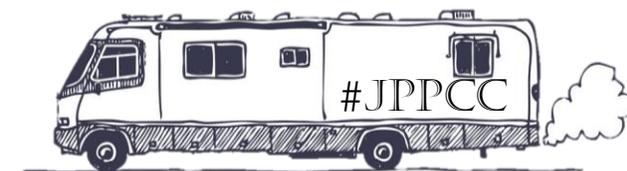


Jan 29th, 2025

Japan Power Platform Community Caravan

JPPCCをめぐって感じて
Power Platformのこれから

PP ログ



本イベントのサポーター様 (アルファベット順)

AKKODiS



ビットゼミ
bitzemi
Human Skill Training Center 株式会社ビットゼミ

— X —
TAKMASPOWER

Empowering citizen developers with Power Platform



佐賀県産業スマート化センター
Industry4.0 AI・IoT Business Innovation



株式
会社

広島情報ソフトウェア



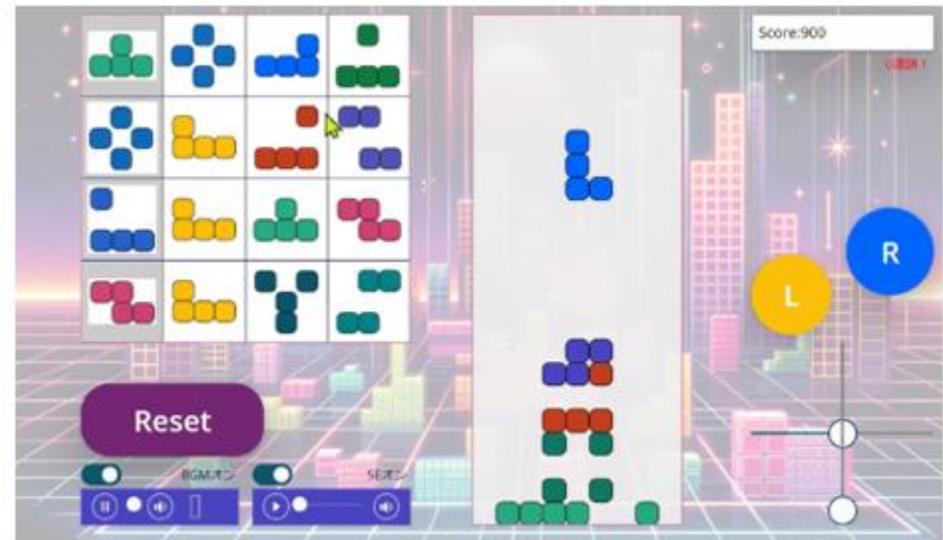
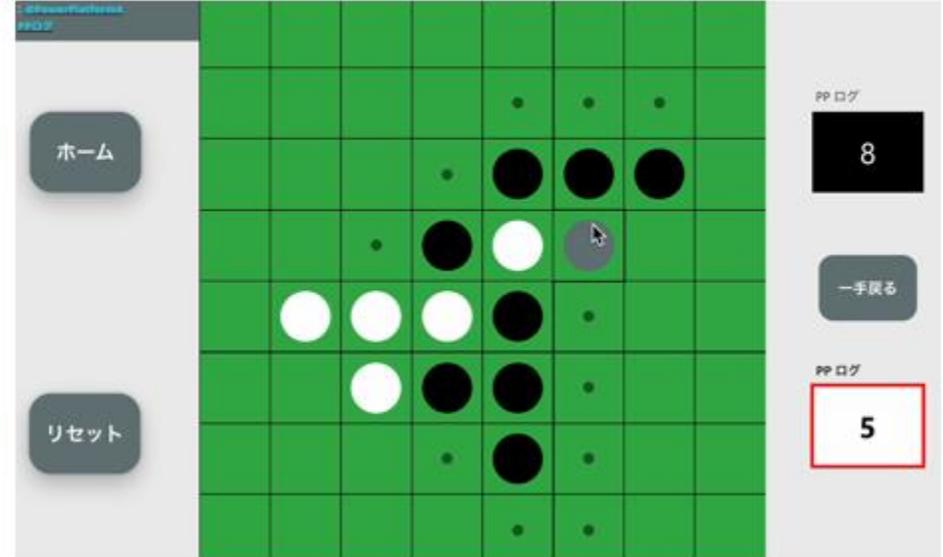
PPログ

X(Twitter) :

<https://twitter.com/PowerPlatform4>

Blog :

<https://powerplatformnikki.com/>

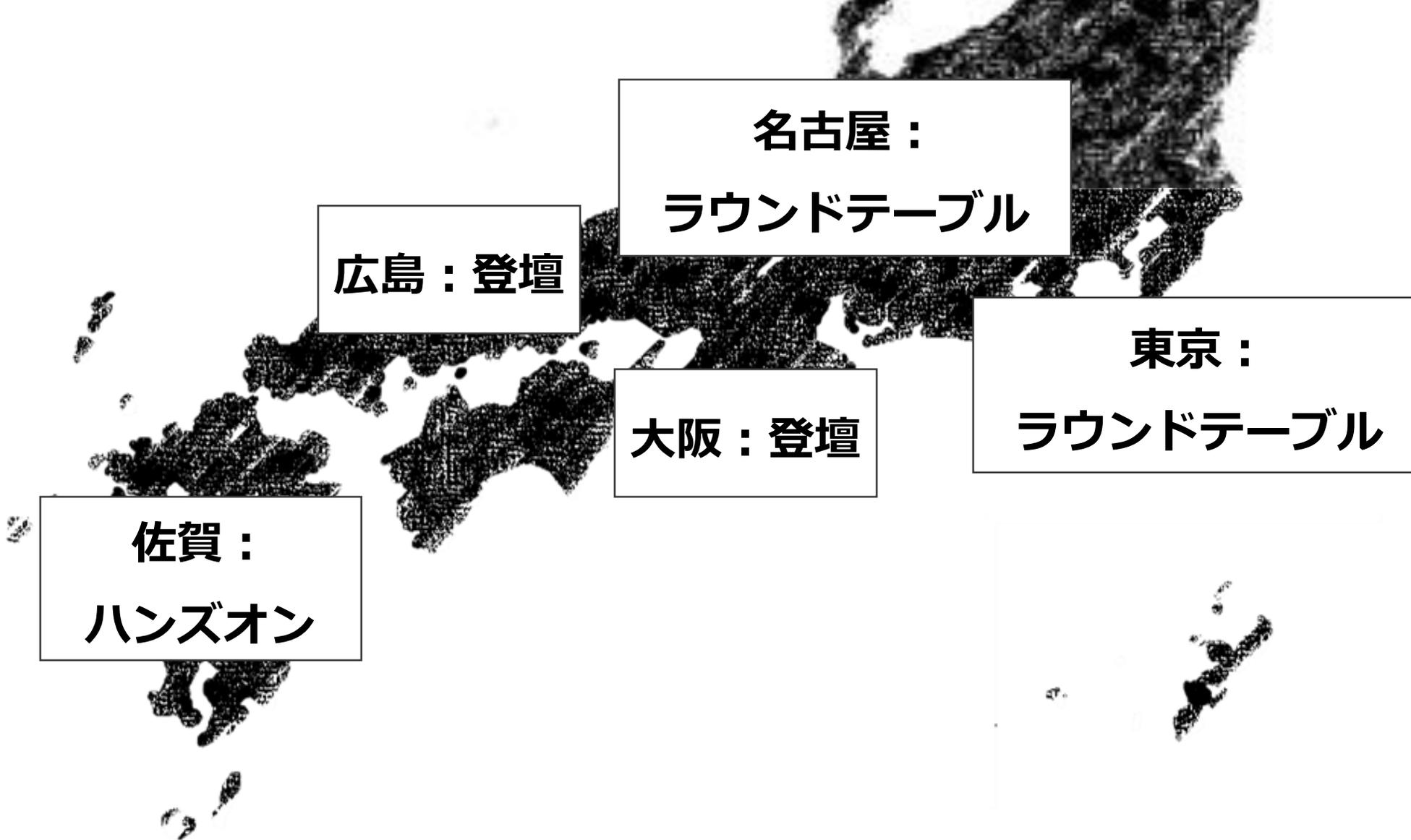


Content

- 数値で見るJPPCC
- 三会場参加でInputしたこと
- 三会場参加してのOutput
- Power Platformのこれから

開催形式・内容





名古屋 :
ラウンドテーブル

広島 : 登壇

東京 :
ラウンドテーブル

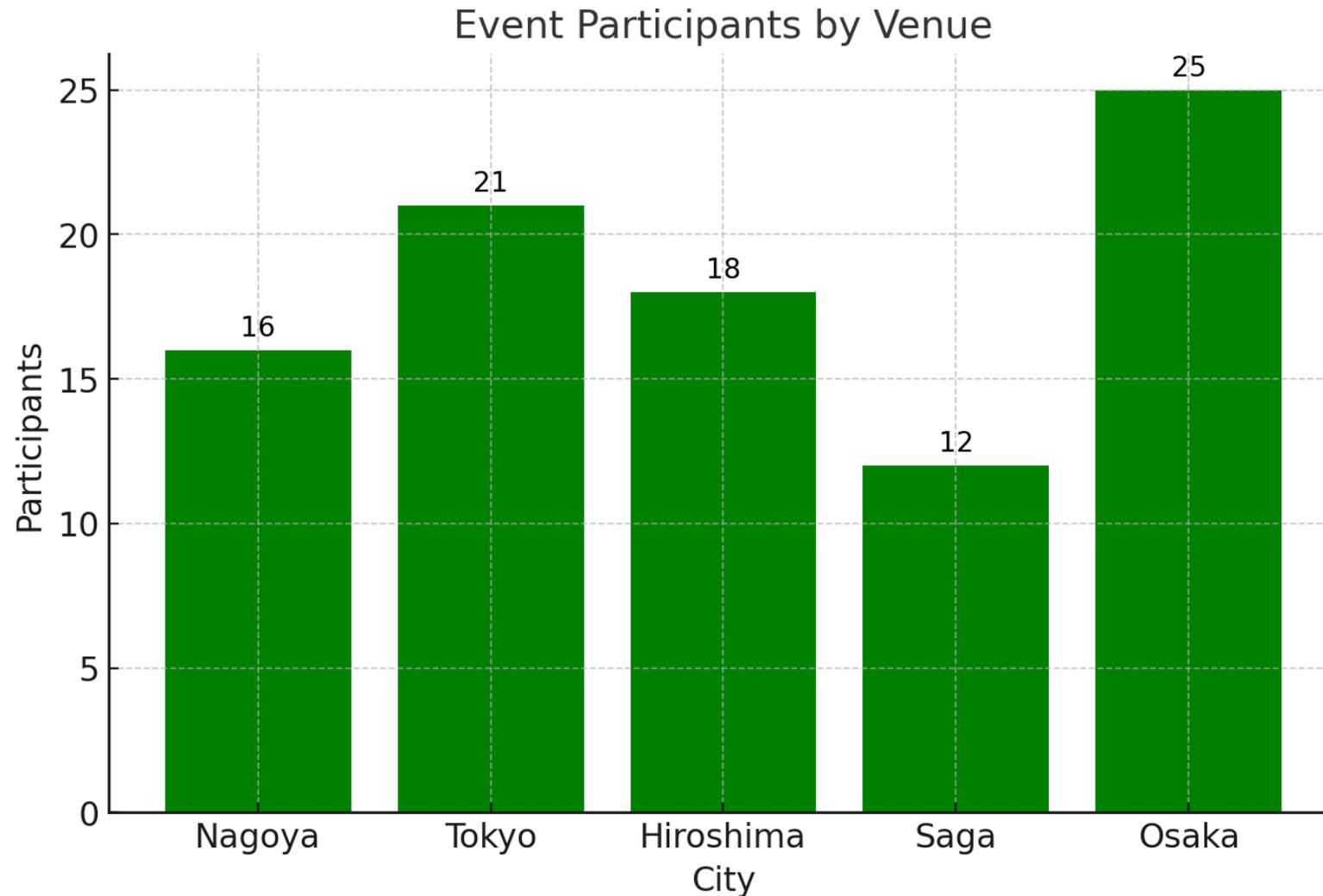
大阪 : 登壇

佐賀 :
ハンズオン

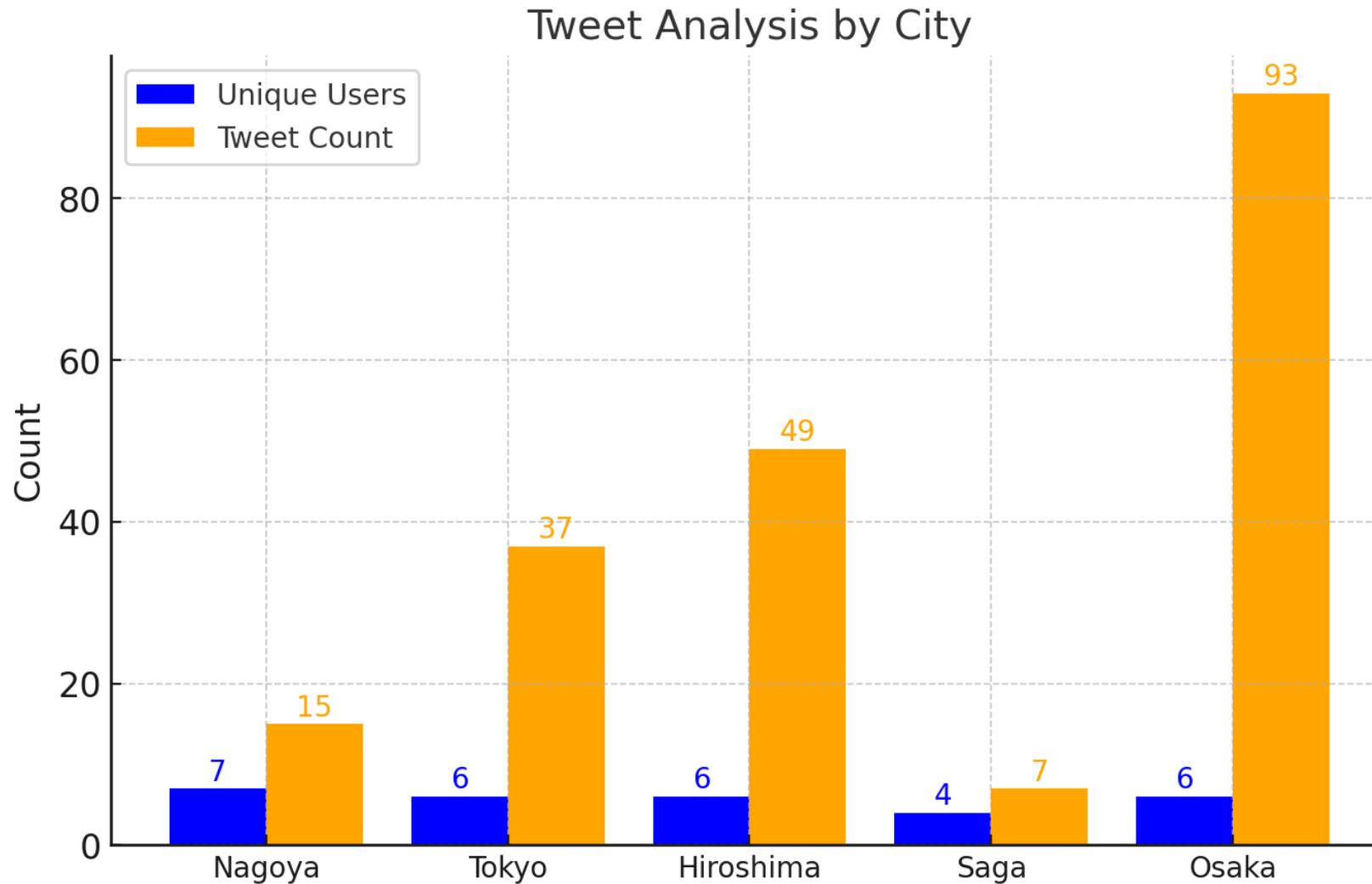
数値で見るJPPCC

※ただの比較で他意はないです

会場ごとの参加者数※運営メンバー除く



ツイート数およびツイートしたユーザー数



三会場参加でInputしたこと

三大都市と地方都市のPower Platform活用度合い、 活用のされ方に差がある



主要都市圏

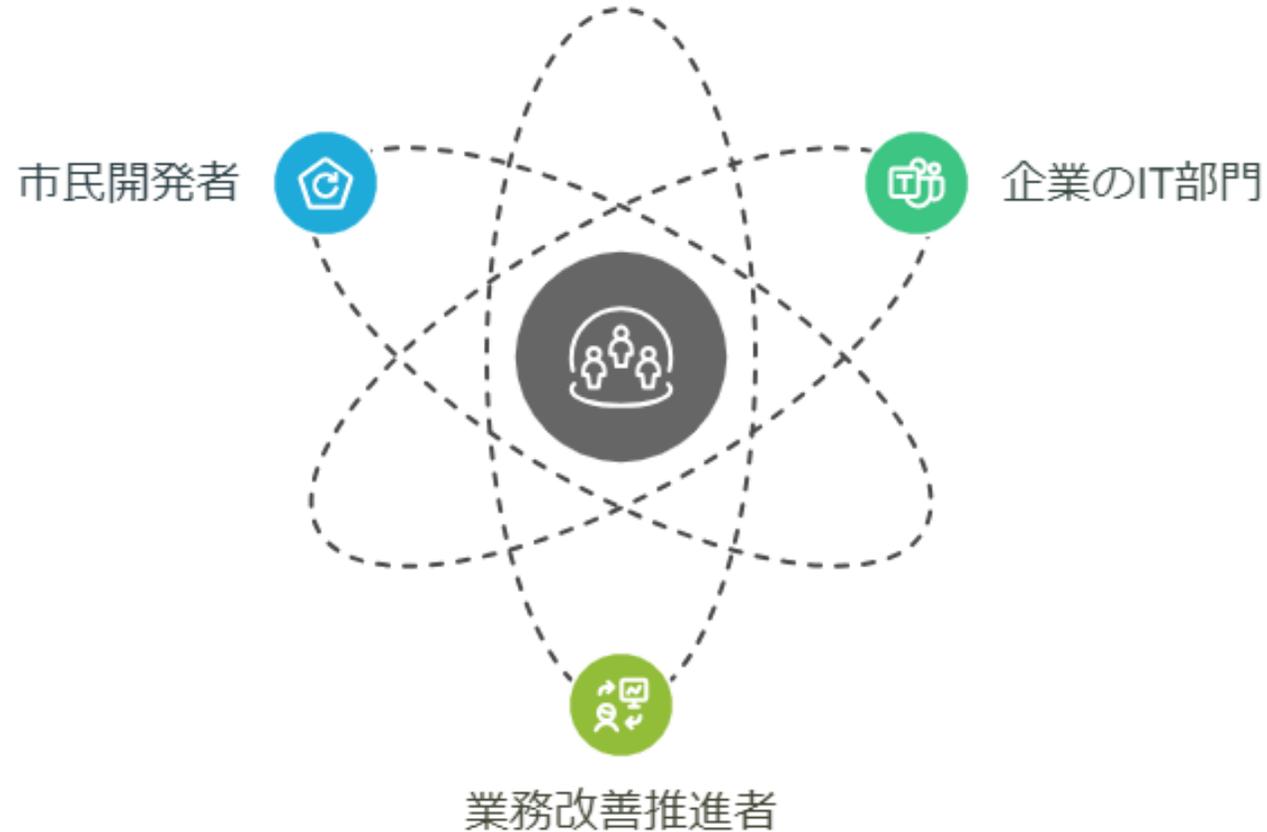
より最適化していく
フェーズ



地方都市

これから社内で
広げていくフェーズ

様々な部門/役割/年齢の方が参加されていました



オンラインではできないここだけの話





ライブツアーみたいで楽しかったです



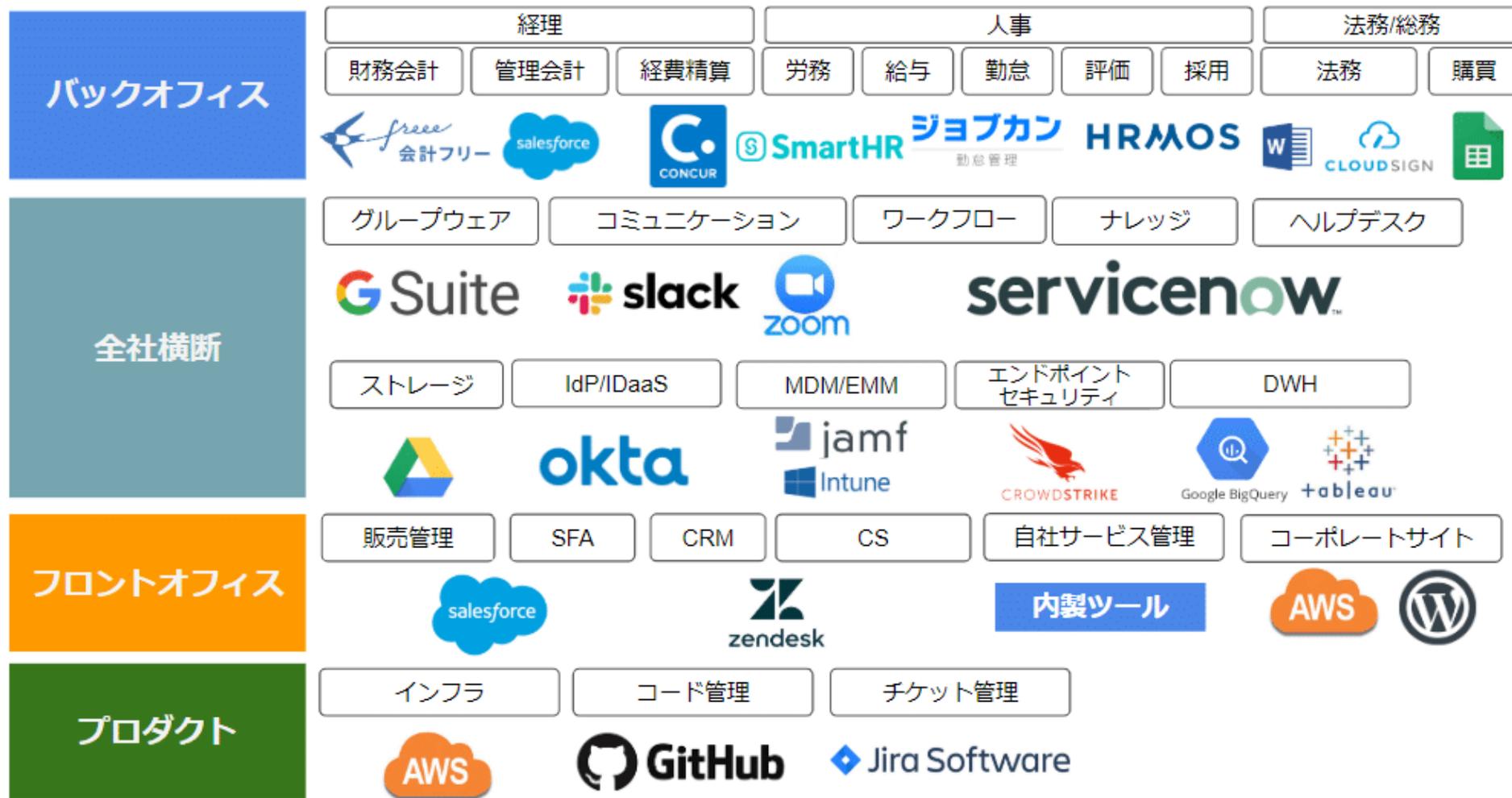


抽象化すると同じような悩みばかりだが、解決策は違う



三会場参加してのOutput

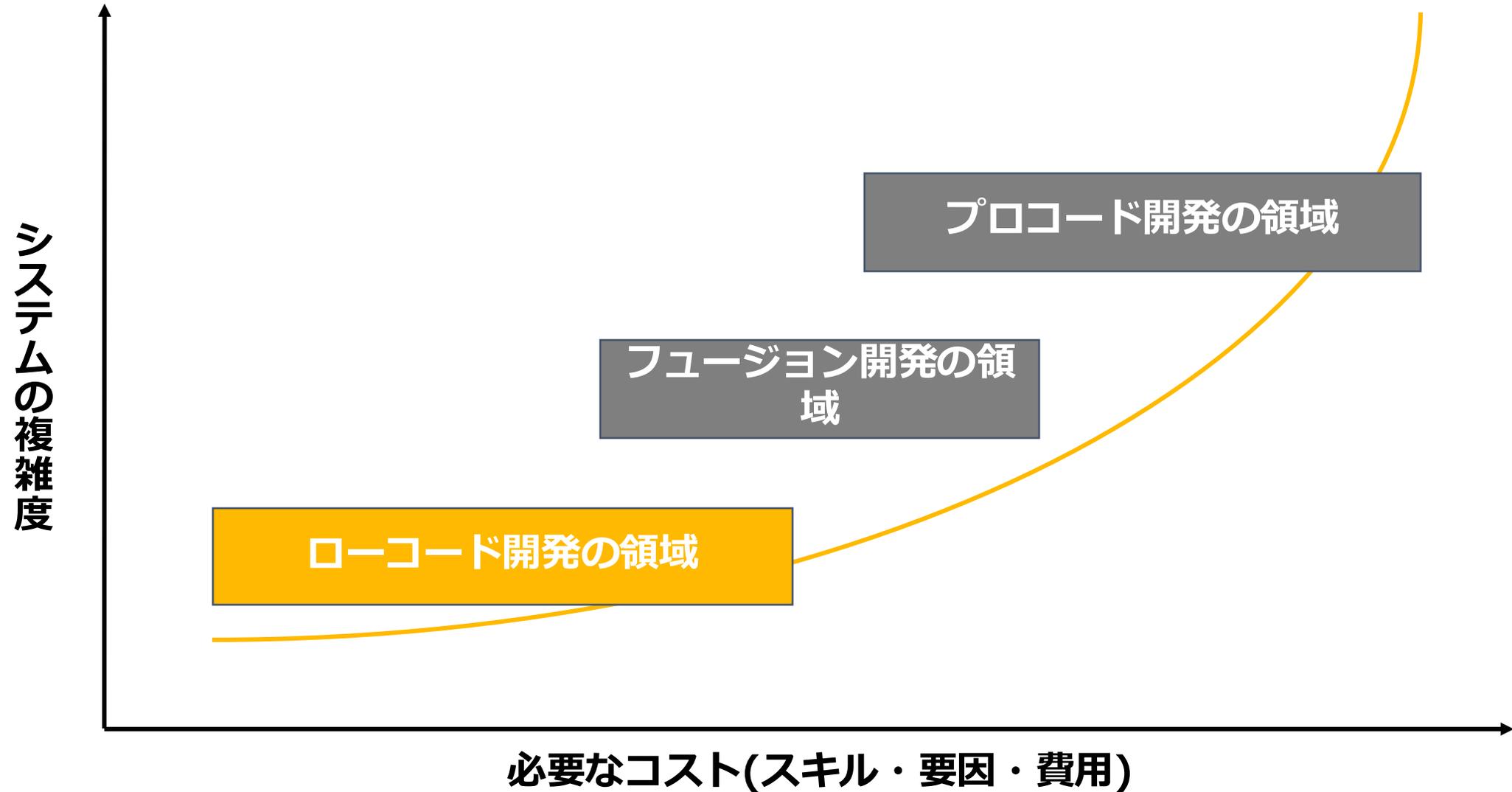
ローコードの適用範囲を知り、活用する必要がある



[社内ツールカオスマップを作ろう](#)



ローコードの得意領域を知ったうえで活用する必要がある





變態

SOY.
EARLY
EARLY
ADOPTER

攻めと守り – 変態を二人作れ

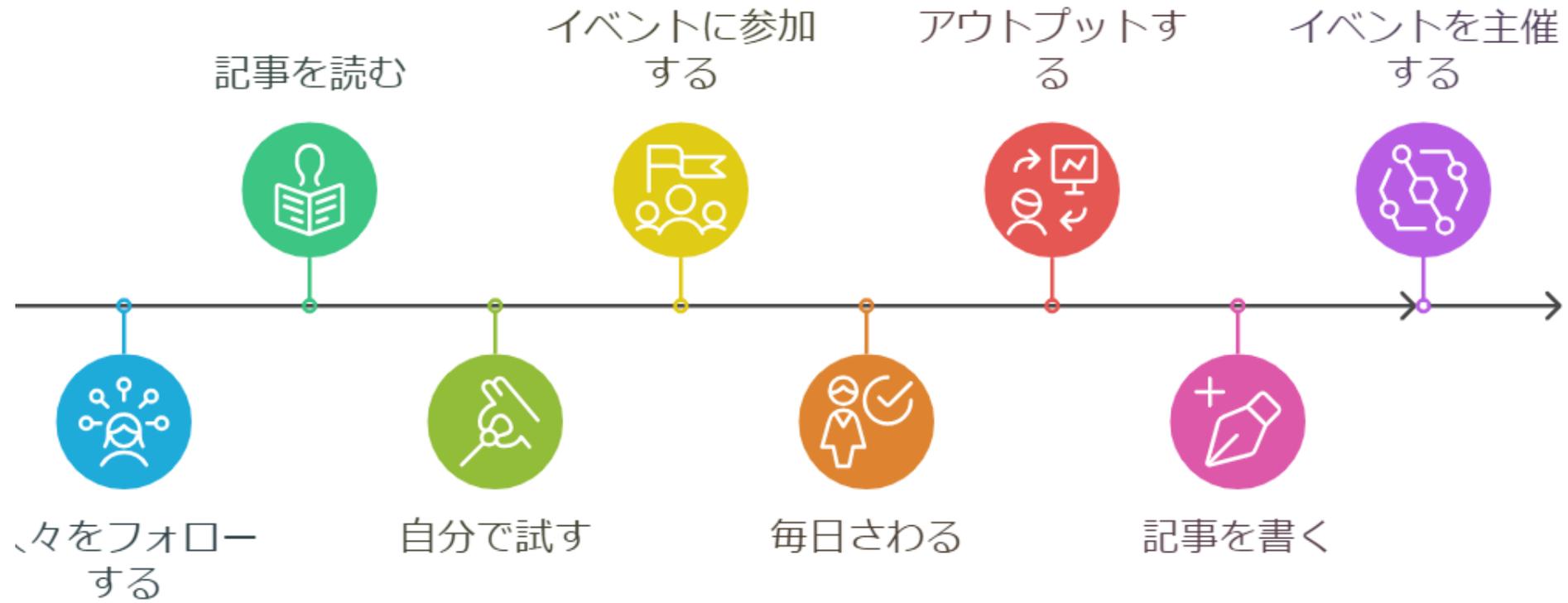
	攻め	守り
やること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初心者講座 ・ プロトタイプ公開 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ガバナンス整備 ・ ドキュメント作成 ・ 障害対応
やらないこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過剰にアプリを作る 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 制約過多
考えること	<ul style="list-style-type: none"> ・ 組織展開 ・ 最適な効率化とは 	<ul style="list-style-type: none"> ・ セキュリティ ・ コスト

これからのPower Platform

これからのPower Platform

- 企業/個人としてPower Platformの進化に追いつく
- 継続して使い続ける
- 開発手法としての市場開拓
- 様々な地域/業種/業界への市場開拓

個人としてPower Platformの進化に追いつく



企業としてPower Platformの進化に追いつく



知識共有

Power Platformに関連する多様な知識と経験を共有すること。



障壁を下げる

参加の障壁を減らし、関与の機会を増やすこと。



リテラシー向上

Power Platformに関する全従業員のリテラシーを向上させること。



市民開発

市民開発を通じて従業員をエンパワーメントし、全体的なリテラシーを向上させること。



開発手法

組織展開においてPower Platformを選択する理由を理解すること。

これからのPower Platform

- 企業/個人としてPower Platformの進化に追いつく
- 継続して使い続ける
- 開発手法としての市場開拓
- 様々な地域/業種/業界への市場開拓



変態に踊らされるな、変態と踊れ

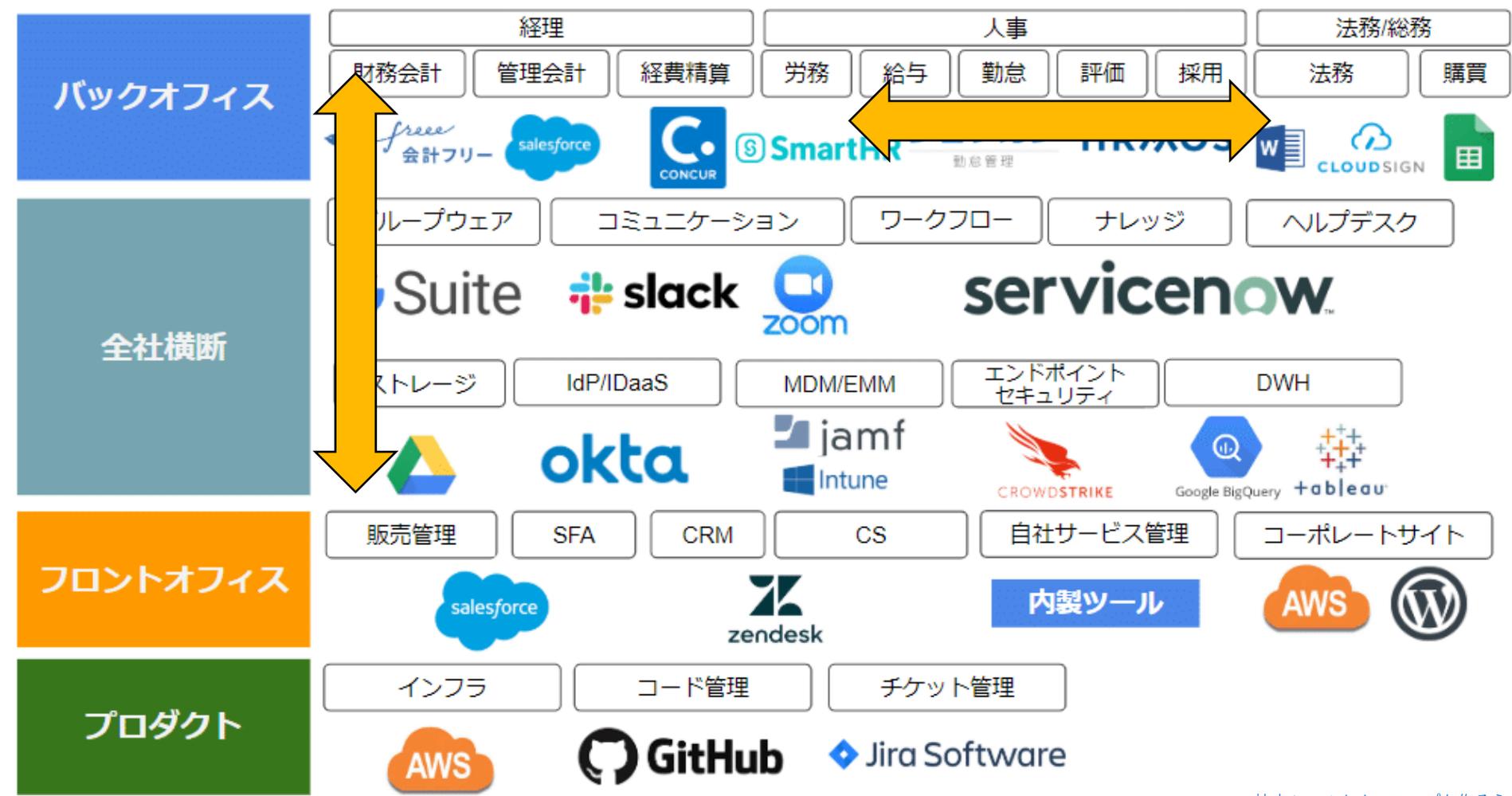
これからのPower Platform

- 企業/個人としてPower Platformの進化に追いつく
- 継続して使い続ける
- 開発手法としての市場開拓
- 様々な地域/業種/業界への市場開拓



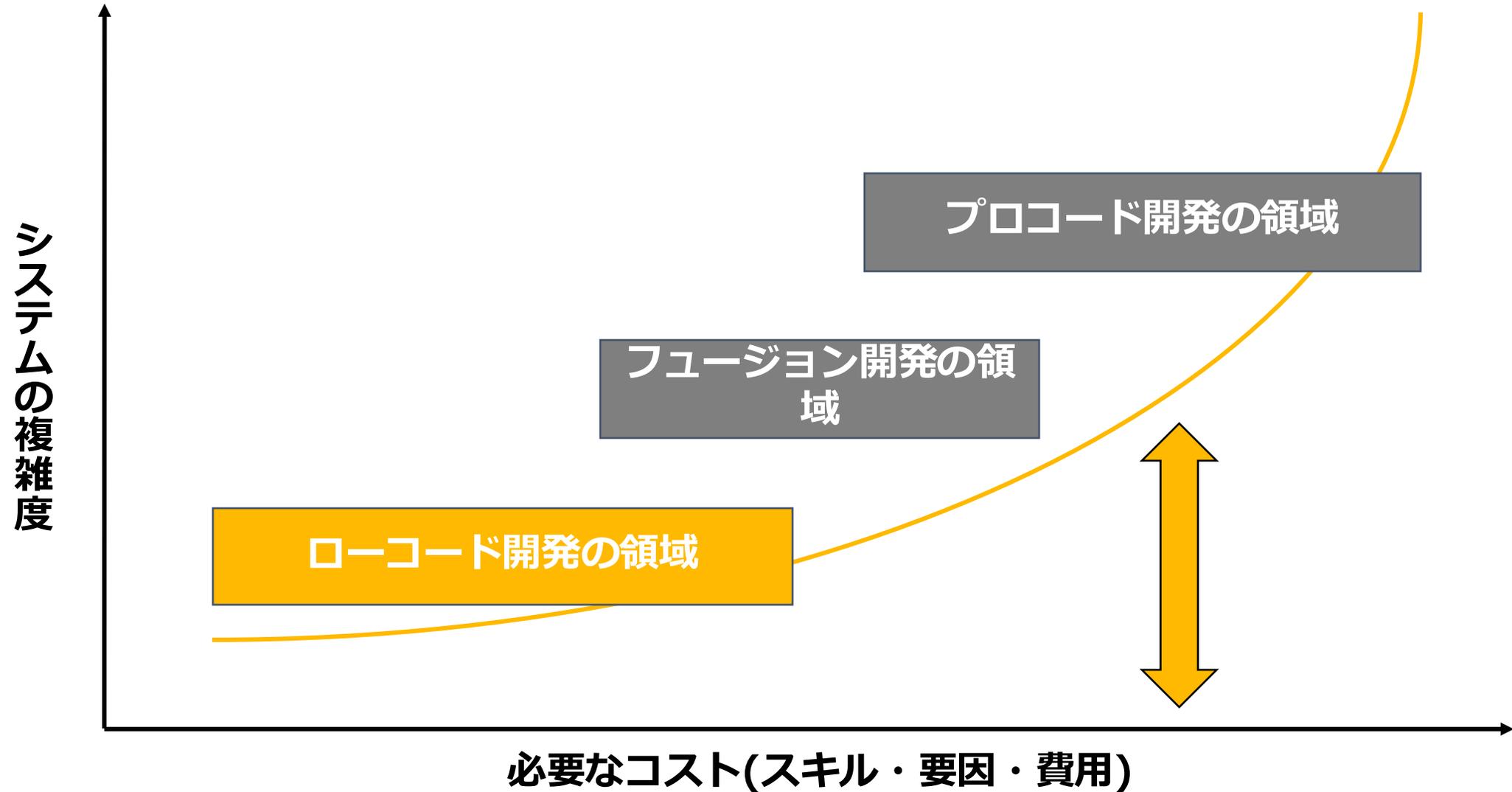
ローコードは“隙間”を埋めるためのツール

一つ目の隙間：ツール間の連携



[社内ツールカオスマップを作ろう](#)

二つ目の隙間：紙とペンの業務からプロコード開発までの開発手法





**適用範囲を見定めて導入しないと大変なことになる
→ローコードの限界**

ローコードの限界≒自分の限界という悩み

考えたことの一例



'IF I HAD ASK CUSTOMERS THEY WAY
WANTED, THEY HAVE SAID

FASSTER HORSES

FASTER HORSES!
HENRY FORD

そのツール間連携、ほんとに必要？

IF I ASKD
CUSTOMER
HESGAGE?





そのツール間連携、ほんとに必要？



フォードさんがやったこと：
顧客(市場)はより速い馬を求めていたが、自動車を開発した。

DXに当てはめると：
顧客が言っていることが常に正しいとは限らない。
ユーザー中心でビジネスを追い求めると破綻する
現行踏襲は論外。どのように現行のビジネスプロセスを
変革させるか、これまでのデータをどう生かすか、
そこまで考えたうえで導入する。



みんなでDXしましょうよ

高度なアプリを作る前に、ユーザー教育をしましょう

市民開発

伴走支援

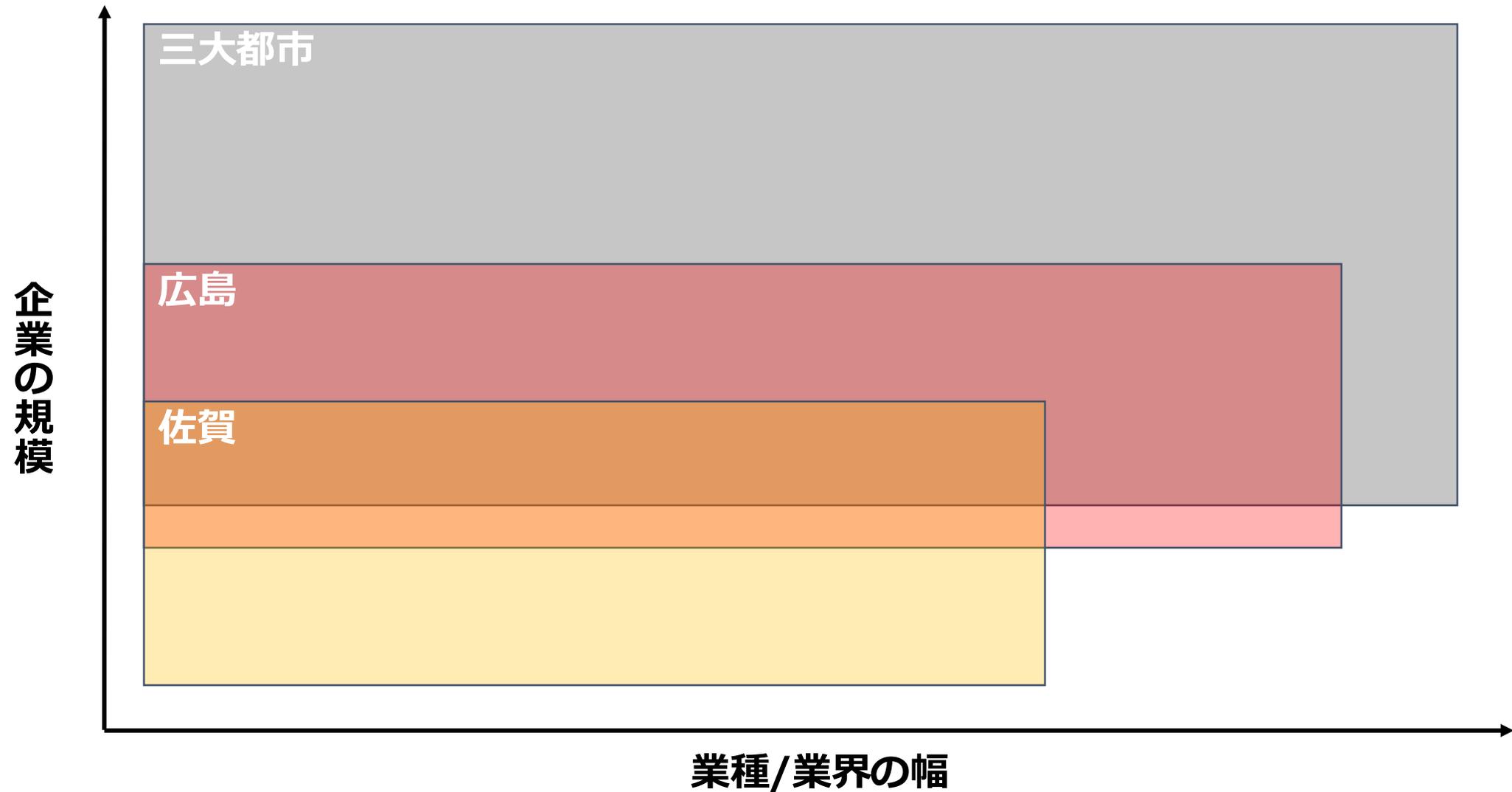
開発委託

- 組織全体で取り組まないとDXは成功しない。**1人の100%よりも10人の10%を**目指そう。
- 最初から開発委託するのは適切なツール選定ではない。
- ユーザー教育が十分なら、開発委託することになっても何ができて何ができないのかを知っているのでスムーズに進む。

これからのPower Platform

- 企業/個人としてPower Platformの進化に追いつく
- 継続して使い続ける
- 開発手法としての市場開拓
- 様々な地域/業種/業界への市場開拓

地域ごとの利用度合いの勝手なマッピング





MR. LOGIC
I IZ I DBUT
OVERLY
STATEMENS!

MR. LOGIC

MR. LOGIC'
LOGGTC.
BUT OVERLY BUT
OVERLY RIDIC
UNNECESSARY
STATEMENTS

'MR. LOGIC'

'MR. LOGIC'

'MR. LOGIC!'

LOGIC
LOOTIC BUT
UNNECESSARY
STATEMENTS

IHS LOGIC
LOGIC

COGIC

MR. LOGIC

IM'S! BOU'L
M'S LOY!!

MR.
LOGIC!

FRUSRUYEHAY
CUCIUIZONE!

MR. LOGIC

MR. LOGIC

ここまでの話は、**“正論”**です



みんなでDXしましょうよ

参考書籍：

[カイゼン・ジャーニー たった1人からはじめて、「越境」するチームをつくるまで
メタ思考～「頭のいい人」の思考法を身につける](#)

つぶやき：

<https://x.com/miyakawayuho/status/1885699460237586438>

<https://x.com/miyakawayuho/status/1885967570387542458>

友情出演：

[Takmas](#)さんに貰った変態の画像

変態

Japan Power Platform Community Caravan

